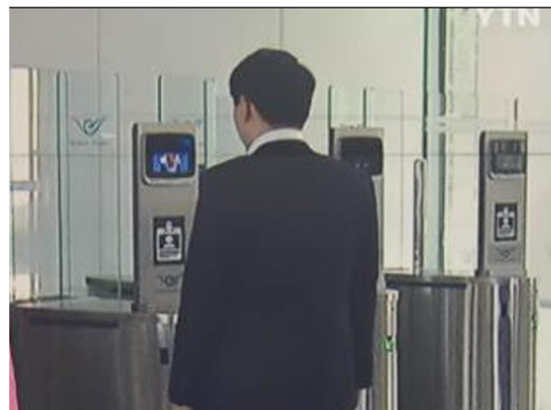


## 世界から EF-45 の導入情報が届きました

世界的に広がる新型コロナウイルスパンデミックの中、ノンコンタクトセキュリティソリューション虹彩認証に対するニーズが高まっています。そんな中開発元 CMI TECH 社から EF-45 の導入実績情報が届きました、社会インフラから企業、医療、製造現場まで国内同様に導入がすすんでいることがうかがえます。



【仁川国際空港での出国手続】

韓国仁川国際空港での大規模な  
出国手続実証実験が開始 ▶



【コロンビアエルドラド空港での出入国管理】



【シンガポールチャンギ空港で国内入港管理】

生体認証はパブリックセクター特に空港等での入出国管理、関係者の入館管理等への利用が先発しています。CMI TECH 社は世界中の有力なシステムインテグレータ（SI）との連携で、ミッションクリティカルな政府系のビジネスで成功例を積み重ねています。コロンビアエルドラド空港とシンガポールチャンギ空港は特に合計 600 台の EF-45 が導入された大規模プロジェクトです。

病院、医薬品管理施設への入退室管理への導入も韓国国内を中心に進んでいます。今般の新型コロナウイルス対策でも先進的な取り組みが評価されている韓国社会で医療関係のセキュリティに成功例を重ねているのが我が国にも参考になるのではないのでしょうか？



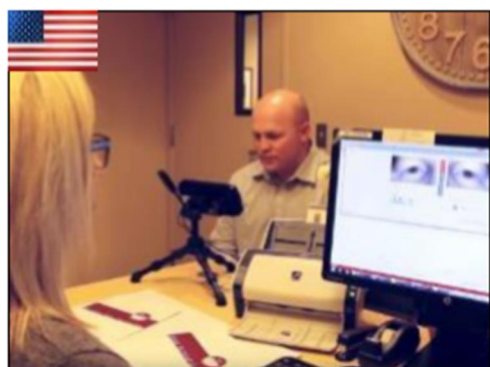
商業施設、オフィスビル入館セキュリティへの導入もすすんでいます。国内でも一般的なセキュリティゲートへ設置されています。カード等のメディアに依存しない、厳格なセキュリティとノンコンタクト性が導入の理由だとのこと。そして、なによりそのスケーラビリティです。標準で1万ユーザの管理が可能で、オプションで4万人まで装置単体で管理できる機能が買われています。



国内でも導入が多いのが、マンション・コミュニティセンター等の居住地域に近い公共の場所です。買い物をした人が両手を塞がれた状態でもスムーズに入館したい、子供に鍵を持たせたくない、そして感染症対策にもつながる虹彩認証は、そんなことでも利用されています。

そして、同様に国内でも実績があるのが、大規模な建設現場への入場管理です。国内では建設現場作業員の社会保険加入管理の目的で導入されています。

#### ▼ 建設現場事務所のゲートへの設置状況



最後に、アメリカの導入実績です。医療保険管理の目的で全米の病院で2つの大規模病院グループで合計850台が患者の管理に利用されています。

世界中で豊富な実績を誇る EF-45 我が国でも幅広い導入が進みその性能に加えて安定性の評価もうなぎのぼりです。これからどんどん導入を進めて参ります。